

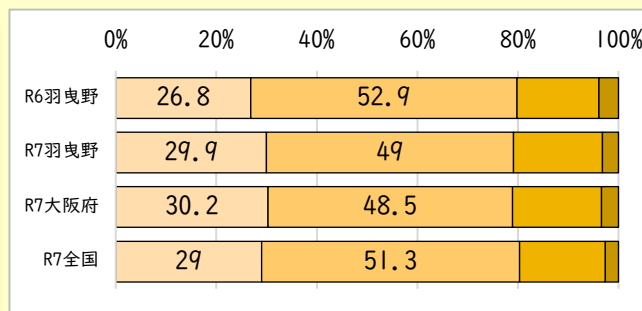
令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

授業・学習に関すること

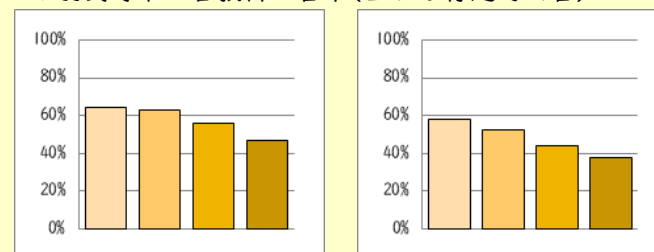
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

小学校

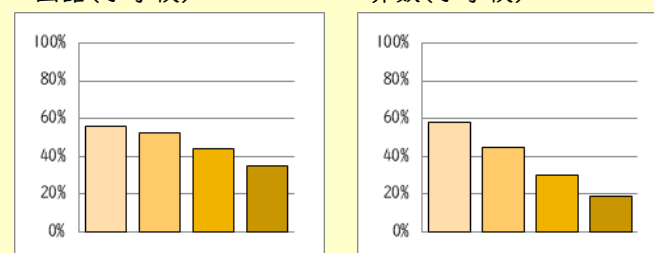


【主体的な学び×学力】
※羽曳野市の各教科正答率(左から肯定的回答)



国語(小学校)

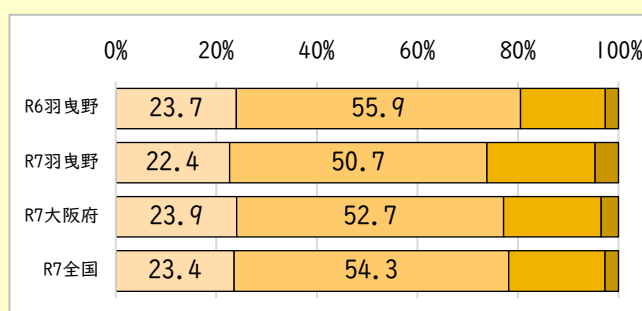
算数(小学校)



国語(中学校)

数学(中学校)

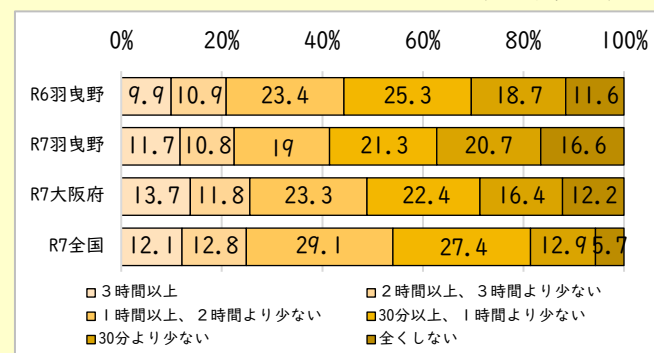
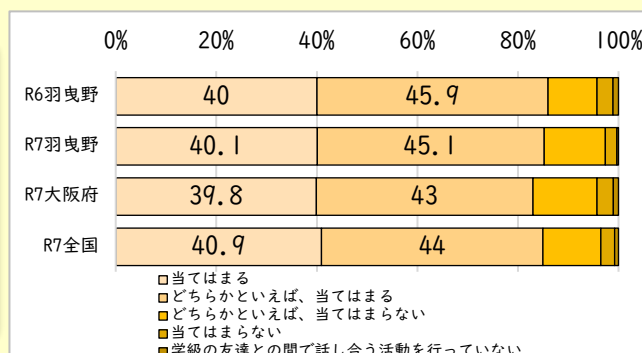
中学校



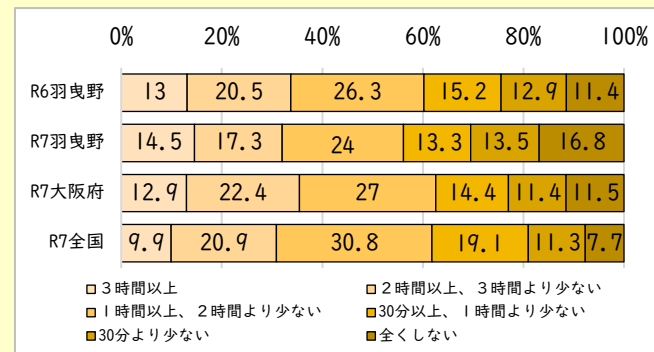
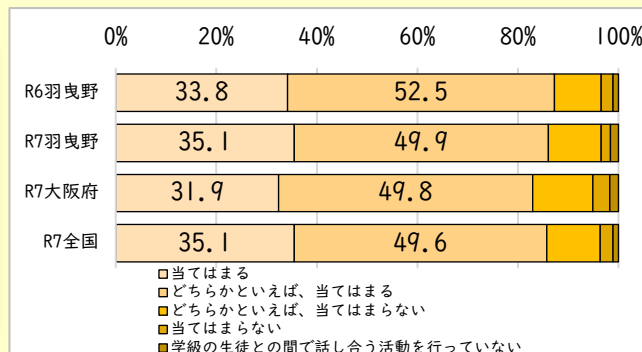
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

学校の授業以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(塾等含む)

小学校



中学校



学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。本市では、小学校において学習に対して主体的に取り組んでいる児童の割合が改善されており、主体的に学習に取り組んでいる児童生徒ほど、小・中学校ともに各教科の正答率は高くなっています。対話的な学習については、中学校でも改善傾向が見られ、各校において授業改善が進められています。一方、家庭学習については、「30分より少ない」「全くしない」と回答している児童生徒の割合が増加しています。学校からの宿題を含め、「ドリルパーク」等を活用した日々の家庭学習の習慣づくりが必要であると言えます。

各質問で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等と回答した児童生徒の割合の合計を「肯定的な回答」として考えています。

羽曳野市教育委員会



読書に関すること

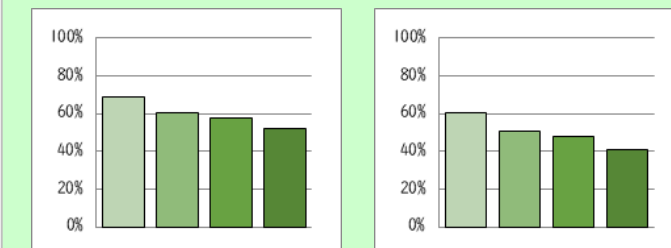
読書は好きですか

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

小学校

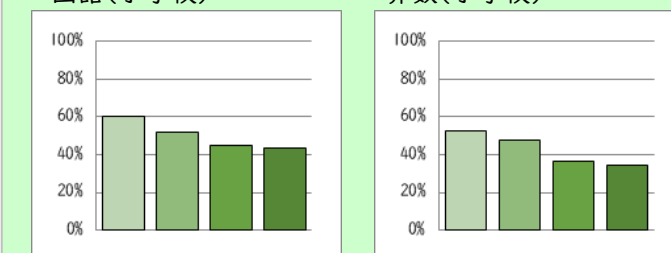


【読書が好き×学力】
※羽曳野市の各教科正答率(左から肯定的回答)



国語(小学校)

算数(小学校)



国語(中学校)

数学(中学校)

読書が好きな児童生徒については、全国的にみて減少傾向にあり、羽曳野市においても同様の傾向にあります。一方で、読書の好きな児童生徒ほど小・中学校ともに各教科の正答率は高くなっており、興味のある図書との出会いが学力向上と関連していると言えます。



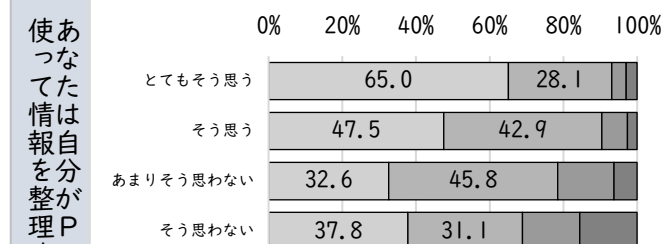
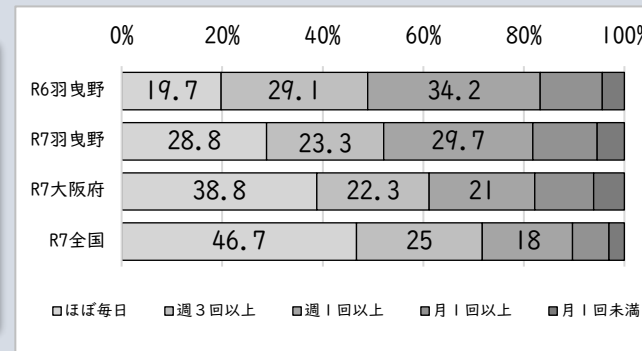
ICTに関すること

授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

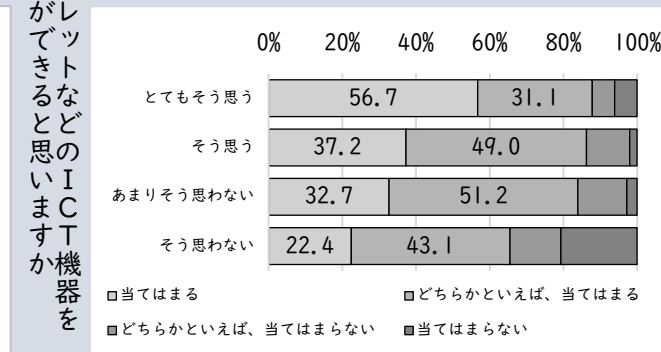
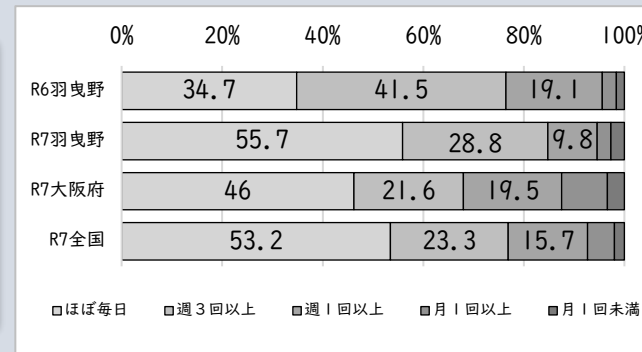
【ICT活用】×【自己肯定感】

自分には、よいところがあると思いますか

小学校



中学校



ICT機器を使用して情報を整理する(図表やグラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると回答した児童生徒ほど、自己肯定感が高い傾向にあります。一方、授業や家庭学習におけるICT活用については、改善傾向にあるものの引き続き改善していく必要があると言えます。